

令和3年度 株式会社キーホームズ ほめてこ入曾教室

事業者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	改善内容又は改善目標 工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		定員10名に対し66m ² あり適切である。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		児童2名に対し職員1名で配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。または、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	エレベーター無しの2階。 室内は段差無しのバリアフリー。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		毎日掃除・消毒している。 手洗い場がもう1ヶ所あればなお良い。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		毎日業務開始前にミーティング。 月1回職員ミーティング実施。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者の意向等、全職員が把握できるようミーティングで報告していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		ホームページにて公開予定。 毎月配布のお便りでお知らせする。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	外部評価は行っていない。
適切な支援の提供	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	オンライン研修など活用していく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		保護者へアンケート、面談にて要望を聞き作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		グループ独自の物を使用。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		児童にあった支援内容を設定している。
適切性	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		ミーティング時に各職員の意見を聞き、行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		コロナ禍で活動が制限されるが、週ごとに内容を変えている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		作成している。
適切性	17	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		ホワイトボードを使い、毎日支援前にミーティングを行い確認している。

り な 支 援 の 提 供	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		毎日振り返りを行い、気づいた事を話し合い共有している。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		個別記録に記入している。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		6ヶ月に1度見直しを行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		児発管が参加している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		<input type="radio"/>	行っていない。今後行っていきたい。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		<input type="radio"/>	今まで該当なし。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>	今まで該当なし。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		送迎時に学校や保護者と情報共有している。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		保護者を通じて情報共有している。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	研修は受けていない。 今後研修機会を増やしていきたい。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>	コロナ禍の為、機会なし。
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		月1回協議会が行われており、管理者が参加している。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		送迎時や連絡ノートで伝えている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）の支援を行っている		<input type="radio"/>	ペアレン特・トレーニングの支援は行っていない。 子どもの現状にあったアドバイス等はしている。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に必ず説明をしている。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		児発管が支援内容の説明をし、保護者から同意を得ている。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		面談、送迎時、連絡ノートにて伝えている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>	コロナ禍の為行えていない。
保 護	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		管理者が中心となり迅速に対応し、全職員に周知している。

者への説明責任等	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		月1回のお便り、ブログで発信している。
	38 個人情報の取り扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		鍵付きのキャビネットで管理している。 個人情報の漏洩には細心の注意を払っている。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		送迎時や連絡ノートを使い行っている。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>	行っていない。 今後検討していく。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニアル、防犯マニアル、感染症対応マニアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>		感染症のお手紙は配布している。 その他のマニュアルも周知していく。 マニュアルはファイルにまとめて目の届くところに置いている。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		年1回消火訓練、年2回避難訓練行っている。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	<input type="radio"/>		契約時に服薬、発作の対応は確認している。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		該当なし。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		その日に職員で話し合い対応策を考えている。 月1回のミーティング時にサイド確認。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしている	<input type="radio"/>		定期的に月1回のミーティング時に確認している。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>		身体拘束は行っていない。